

1. 事業の概要等

事務事業名	【④産業振興】 観光事業コーディネーター配置事業（地域おこし協力隊事業）		
政策	未来をつくる人と産業が育つまち/観光振興と交流人口の拡大	担当課	商工観光課
施策①	稼ぐ力を高める戦略的な観光地域づくりと滞在交流型観光の推進	電話番号	27-8421
施策②	DMO を中心とした観光地域づくりの推進	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト	人材育成と産業の振興	新規・継続	継続
4 つの柱	産業振興	補助・単独	単独
事業期間	令和 5 年度～令和 8 年度		
事業の概要			
体験プログラムの開発・実施及び観光に関する情報発信、観光による交流人口の拡大、地域の活性化を図るため、行政や観光関係事業者等と連携しながら事業を実施していくためのコーディネーターを確保するもの。また、三陸ジオパークの情報発信及び、三陸ジオパークを活用した地域活性化や観光振興を推進する推進員を確保するもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題
地域DMOである(株)かまいしDMCが観光地域づくりをマネジメントし、官民が一体となって連携して精度の高い観光戦略を策定し「釜石オープン・フィールド・ミュージアム構想」を推進させるためには、市、DMC、観光関連機関がより一層の連携を図る必要がある。
目的
市、DMC、観光関連機関がより一層の連携を強化するために、各機関をつなぐ体制を構築する。また外部からの誘客を促進することで、交流人口と滞在人口の増加を目指す。また、専門性や学術性の高いジオに関する知識を習得した三陸ジオパークコーディネーターを育成し体制強化を図るとともに、ジオツアーなどイベントを実施し、ジオパークを広く知ってもらおう。

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
<ul style="list-style-type: none"> ・市、DMC、観光関連機関の連携を図り、円滑に事業を進めるため調整役となるコーディネータを1名配置する ・三陸ジオパークコーディネーターとなる1名を配置する。 		
事業費		
R 7	R 8	R 9
9999 千円	9999 千円	0 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	適切	適切	適切
評価結果			
DMOを中心とした観光地域づくりの推進につながり、新たなイベントや手法のアイデアが生み出されることが期待される事業である。地域おこし協力隊制度を活用し、三陸ジオパークについても実施体制を整えられたい。			

令和6年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和7年度～令和9年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	【④産業振興】 四季彩イベント開催事業		
政策	未来をつくる人と産業が育つまち/観光振興と交流人口の拡大	担当課	商工観光課
施策①	稼ぐ力を高める戦略的な観光地域づくりと滞在交流型観光の推進	電話番号	27-8421
施策②	多様な観光イベントの開催と誘客促進	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト	人材育成と産業の振興	新規・継続	継続
4つの柱	産業振興	補助・単独	単独
事業期間	平成 25 年度～令和 9 年度		
事業の概要			
釜石市観光振興ビジョンに掲げる「中心市街地の活性化・世界遺産と鉄づくりの産業遺産観光の促進・ラグビーワールドカップ 2019 を活用した地域再生」を推進するために、四季を通じたイベントの開催により、市の魅力を市内外に発信するとともに、出店業者や近隣地域への経済効果を図るもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題
新型コロナウイルス感染症の影響により、釜石市を訪れる観光客の減少及び賑わいが落ち込んでいる中で、来訪者の増加させるためには、釜石市の自然や文化等の魅力を体験できるプログラムの実施、四季を通じた既存イベント等をのブラッシュアップとともに、SNSを活用した情報発信が必要となっている。
目的
既存のイベント等をブラッシュアップするとともに、SNSを活用した情報発信を行うことにより、釜石市を訪れる人及び釜石市を知っている方を増やし、滞在・宿泊している状態が持続させることを目的とする。

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
<ul style="list-style-type: none"> ・イベントのブラッシュアップ ・市内団体が開催するイベント等への補助金交付 ・SNSでの情報発信 		
事業費		
R 7	R 8	R 9
19360 千円	19360 千円	19360 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	見直し余地あり	適切	見直し余地あり
評価結果			
多様な観光イベントの開催と誘客の促進につながっている重要な事業であるため、引き続き関係機関と連携し市内の活性化及び交流人口拡大に努められたい。一方、決まった団体に決まった金額を交付している状況であるため、精査されたい。			

1. 事業の概要等

事務事業名	【④産業振興】 伝統芸能「釜石虎舞」全国発信事業		
政策	未来をつくる人と産業が育つまち/観光振興と交流人口の拡大	担当課	商工観光課
施策①	稼ぐ力を高める戦略的な観光地域づくりと滞在交流型観光の推進	電話番号	27-8421
施策②	多様な観光イベントの開催と誘客促進	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト	人材育成と産業の振興	新規・継続	継続
4つの柱	産業振興	補助・単独	単独
事業期間	平成 22 年度～令和 8 年度		
事業の概要			
全国虎舞フェスティバルを市街地中心部で開催することで、街中の賑わいを創出するとともに、市外への情報発信にもつなげる。釜石虎舞は釜石を代表する郷土芸能であることから、当該イベントを継続することにより観光の PR 及び伝統芸能の継承を図るもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題
中心市街地への人出が減っており、中心市街地の賑わい創出による活性化が必要。
目的
中心市街地に整備された施設（情報交流センター、TETTO、大町広場等）を活用したイベントの開催による市街地の賑わい創出。市の郷土芸能である「虎舞」によるPR。

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
市内の虎舞団体による「虎舞フェスティバル」の開催 「釜石虎舞」を活用した市のPR活動		
事業費		
R 7	R 8	R 9
0 千円	2300 千円	0 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	適切	見直し余地あり	適切
評価結果			
釜石の伝統芸能PRにつながる重要な事業である。今後は、隔年開催とし、イベントを企画されたい。			

令和6年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和7年度～令和9年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	【④産業振興】 ふるさと便お届け事業		
政策	未来をつくる人と産業が育つまち/観光振興と交流人口の拡大	担当課	商工観光課
施策①	稼ぐ力を高める戦略的な観光地域づくりと滞在交流型観光の推進	電話番号	22-2111
施策②	地域ブランドの創出と物産振興	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト	人材育成と産業の振興	新規・継続	継続
4つの柱	産業振興	補助・単独	単独
事業期間	平成 27 年度～令和 8 年度		
事業の概要			
個人からの寄附に対して地場産品をふるさと便としてお届けし、寄附件数及び寄附額の増加を図るとともに、特産品の掘り起こしによる六次産業化を促進し、当市の魅力を全国に発信するもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題
安定的な財源の確保が難しくなり、市内飲食店や小売業事業者の衰退などが著しい中、新型コロナウイルス感染症や物価高が猛威を振るっており、ふるさと納税による収入は貴重な財源確保の手法となっていることから、安定的な収入として確保することが必要となっている。
目的
ふるさと納税で得た収入を、市民の課題解決のための事業に充てるとともに、市の特産品を県内外にPRすることで知名度アップや特産品の開発や掘り起こしにより地域経済活性化に繋げたい。

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
<ul style="list-style-type: none">・各ポータルサイトのスムーズな運営・各ポータルサイトを活用した PR・寄附者へのレスポンスを確実に丁寧に行う・ふるさと納税返礼品の品数を増やす・全体的な返礼品の交渉、選定		
事業費		
R 7	R 8	R 9
400000 千円	400000 千円	0 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	適切	適切	適切
評価結果			
当事業は、地場産品の販路拡大や、新たな特産品の発掘等が期待される重要な事業である。引き続き市内事業者等と連携し、釜石市の地域ブランドの創出へ向けた取組を実施されたい。			

1. 事業の概要等

事務事業名	【④産業振興】 釜石物産センター改修調査業務		
政策	未来をつくる人と産業が育つまち/観光振興と交流人口の拡大	担当課	商工観光課
施策①	稼ぐ力を高める戦略的な観光地域づくりと滞在交流型観光の推進	電話番号	27-8421
施策②	観光資源を活用した滞在型観光の創出	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト	人材育成と産業の振興	新規・継続	新規
4つの柱	産業振興	補助・単独	単独
事業期間	令和7年度～年度		
事業の概要			
釜石物産センターは、建設から28年が経過し老朽化が進んでいることから、施設や設備に関する劣化度調査等を実施し、改修箇所の特特定、時期や金額の把握を行い、計画的な改修等による利用者の安全の確保及び施設の長寿命化に繋げるもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題
釜石物産センターは、駅前の観光交流施設として、市民には飲食、特産品購入やイベント等で利用されており、観光客においても、観光物産情報の取得や土産品購入に利用されている。しかしながら、施設の老朽化が進み、多数の不具合が生じており、市民及び観光客の利便性を欠いている。また、基幹設備の修繕不可による影響は、市民・観光客はもとよりテナント入居者や駅前周辺施設に影響を及ぼすことから、未然に防ぐ必要がある。
目的
施設現状に係る調査を行い、長寿命化を図る上での金額や時期等を把握することで、今後の施設利用方針を明らかにしていきたい。

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
設備の修繕や入替を行うことにより、施設の安全性及び利便性の向上を図る		
事業費		
R 7	R 8	R 9
7576 千円	0 千円	0 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	適切	適切	適切
評価結果			
建設から28年が経過しており、施設本体及び設備の老朽化が進んでいることから、関係各所と協議のうえ、慎重に実施されたい。			

1. 事業の概要等

事務事業名	【④産業振興】 スタジアムコンサート誘致推進事業		
政策	未来をつくる人と産業が育つまち/観光振興と交流人口の拡大	担当課	スポーツ推進課
施策①	釜石の強みを生かした国内外の交流の拡大	電話番号	0193-27-5712
施策②	ラグビーを核にしたスポーツツーリズムの推進	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト	学びの多様性の実現に向けて	新規・継続	継続
4つの柱	産業振興	補助・単独	補助
事業期間	令和6年度～令和7年度		
事業の概要			
釜石鶴住居復興スタジアムはスポーツによる利活用のほか、芸術文化のイベントでも活用されるべくして建設され、これまで多種多様なイベント開催で多くの人たちが楽しめる空間を創出してきた。R6年度で市民が熱望していたスタジアムコンサートを開催することができたため、スタジアムコンサートが今後定期的に行われるためにコンサート開催を誘致しようとするもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題
スタジアムはスポーツによる利活用のほか、芸術文化のイベントでも活用されるべくして建設され、これまでラグビーイベント以外でも多種多様なイベント開催を誘致のうえ市民及び市外の多くの人たちが楽しめる空間を創出してきたが、市民の中では、スタジアムでの音楽フェスやコンサートイベントの開催を望む声が多くあり、賑わいの創出や交流人口・関係人口拡大でラグビー関係者以外からの満足度の高い施設利用を推進したいもの。
目的
コンサート開催に支障となるのは、コンサート仕様とするための、芝生保護のための床敷き材設置であるが、今回、このような大がかりな仕様を必要としないアーティストグループと、スタジアムコンサートの共催が可能となったことから、釜石特有のスタジアムコンサートを開催実現しようとするもの。

3. 主な活動及び事業費

主な活動			
既に釜石鶴住居復興スタジアムでのコンサートイベントを打診していただいている音楽アーティストと、直接または間接的に交渉のうえ、1,500人規模のスタジアムサートを計画するもの。			
事業費			
R 7		R 8	R 9
3780 千円		0 千円	0 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	適切	適切	適切
評価結果			
コンサートを誘致することで、スタジアムの価値向上、釜石市民の賑わい創出に寄与することができる。さらなる交流人口拡大に向けた事業を展開できるよう実施されたい。			